

京女データサイエンス・AI応用基礎プログラム(データサイエンス学部) 実施計画



【プログラムの目的】

自らの専門分野に数理・DS・AIを応用し課題解決・価値創造するための感性、幅広い視野、基本能力をもち、社会で実践できる女性人材を育成すること。

【身につけられる能力】

自らの専門分野に数理・DS・AIを応用し課題解決、価値創造するための幅広い視野と実践的な基本能力を身に付けられる。

【実施体制】

データサイエンス学部の教育・研究に責任をもつデータサイエンス学部教授会が、プログラムの運営・改善及び自己点検・評価を行う。
企業連携では、データサイエンス研究所と連携し、自己点検・評価の結果は全学の内部質保証推進会議へ報告する。

【工夫・特色】高い修了率の実践的・専門的教育

- ① 文理融合の多様な学生への丁寧な教育
 - 数学補習講義 (20回)
 - データサイエンスカフェ (DS Café)
学生アルバイト等による毎日の質問対応
 - アカデミックカウンセリング
定期的に全学生と面談
- ② 企業・自治体による実践的な講義・PBL
 - 26の企業・自治体 (延べ44回) の講義・PBL、
インターンシップ説明講義の実施
- ③ エキスパートレベルへのブリッジ
 - DS学部での発展研究・教育への橋渡し